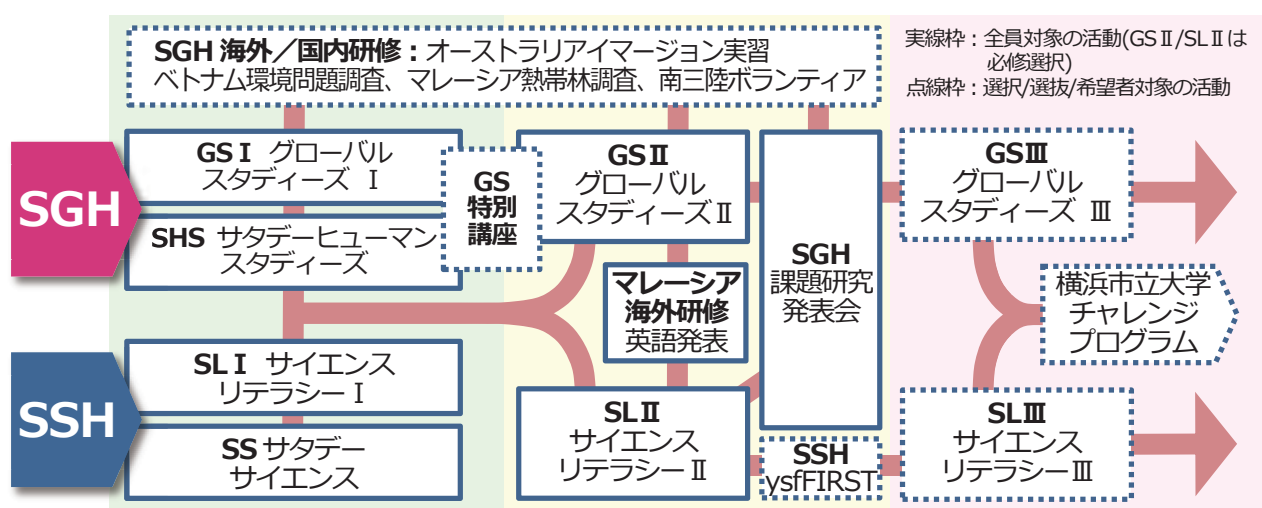


横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校

内外の多様な教育資源を活用した グローバル・リーダー教育の研究開発

【構想の概要】

- サイエンスの素養とコミュニケーション力を育成する本校の教育プログラムを前提とした「グローバル・リーダー育成に資する教育」の研究開発を行う。
- 横浜の地域性を生かすとともに、本校スーパーアドバイザー、科学技術顧問をはじめとする支援者・支援機関に加え、社会科学等の分野を専門とする研究者などの支援、協力を得て、研究開発を進める。
- グローバルスタディーズ（GS）運営委員会を中心とした全教職員による組織的な取り組みにより、グローバルスタディーズ、サタデーヒューマンスタディーズ、国内外の研修を柱とした「課題研究」を推進する。



単位数	1 年次	2 年次	3 年次
2	SL I	SL II / GS II	理数数学Ⅲ
4	理数数学 I	理数数学 II	体育
6		理数数学特論	現代文 B
8	理数物理	理数理科 (物理・化学・生物・地学) から 2 科目	Reading Skills
10	理数化学		Writing Skills
12	理数生物	世界史 A	
14	理数情報	日本史 A	
16	現代社会 (GS I)	家庭基礎	
18	芸術	保健	選択科目 (最大 20 単位) SLⅢ/GSⅢ (各 2 単位)
20	保健	体育	
22	国語総合	古典 B	
24		現代文 B	
26	コミュニケーション英語 I	コミュニケーション英語 II	
28	OCPI	OCPII	
30	LHR	LHR	LHR
32			
34			
35			

※各学年 1 列を 2 単位分として表記しています。

※OCPI : Oral Communication for Presentation and Debate

1. GS II・SL IIでの課題研究活動に向けて

本校の生徒は2年次にGlobal Studies II (GS II) またはScience Literacy II (SL II) のいずれかを選択し、各自のテーマについて全員が課題研究を行う。

1年間の研究活動が有意義なものになるように、昨年度までは1年次のScience Literacy I (SL I) の授業で、テーマ設定の指導や助言を行ってきた。

2. SGH と SSH の連携に向けて

SGH 指定5年目となる今年度は、SGH と SSH の融合をテーマにGlobal Studies 担当者とScience Literacy 担当者が何度も話し合いを重ねた。その結果今年度1学期は、「SDGs を意識した課題研究テーマの設定」について、SSH の SL I とサタデーサイエンス (SS)、SGH の GS I とサタデーヒューマンスタディーズ (SHS) およびGS 特別講座を連携させ、以下のスケジュールで指導を進めている。



3. 「SDGs ×サイエンス」の取り組み(前半)

5月26日のSSでは、生徒は、課題研究テーマを設定する際に考えるべきポイントについての講演を聞き、翌週のSL Iで、グループに分かれて、実際にSDGsのゴールと科学の知識を組み合わせた研究テーマを設定した。

6月のGS Iでは、「清潔な水と衛生」をテーマとしたワークショップで、生徒は途上国の現状や先進国の食品ロスなどについて理解を深めた。



6月のGS Iの活動風景

その後のGS 特別講座でも、SDGsに関する講義の後「ジェンダー」や「平和」などのテーマに分かれてグループディスカッションを行った。

4. 「SDGs ×サイエンス」の取り組み(後半)

6月23日のSSでは、前半の取り組みで生徒が設定した実際の研究テーマについて、優れている点や、再考すべき点などを全体で共有した。そして翌週のSL Iでは、SSで共有されたフィードバックを参考に、各グループがそれぞれの最終的なプランを決定し、プレゼンテーションを行った。

今後、7月のSHSでは、サイエンスの技術をグローバルな問題の解決に生かす企業の取り組みについて学び、生徒たちはGS Iの夏の課題につなげていく。

Global Studies の選択者もこの5年間で着実に増えている中(下表)、今後もSGH と SSH の活動のより良い連携について校内で議論を重ねていく。

